

令和元年5月16日現在

機関番号：23804

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15H02877

研究課題名(和文) 地域が取り組む地域デザイン史の研究

研究課題名(英文) Research on the regional design history that the region works on

研究代表者

黒田 宏治 (KURODA, Kohji)

静岡文化芸術大学・デザイン学部・教授

研究者番号：40329553

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 9,000,000円

研究成果の概要(和文)：(1)『日本・地域・デザイン史』：熊本、大阪、名古屋、神奈川、仙台・宮城、秋田、函館の7地域を取り上げ、各地域とも大学研究者、官民実務者のチーム編成のもと、産業、振興、景観、教育等諸分野の調査・編纂を進め現代デザイン史をとりまとめた。
(2)『地域産業デザインプロモーション現代史研究報告書』石川地域(石川県内の山中地域、九谷地域、輪島地域)、富山県高岡地域、大阪地域の伝統産業や地場産業を対象にデザインプロモーションをテーマに進めてきた調査研究の成果をとりまとめた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

(1) 地域デザイン史という新たな研究領域の構築・普及、市民権確保が一步進められ、将来に向けた全国規模での地域デザイン史のデータベース構築の基礎づくりが行えた。
(2) 地域産業におけるデザインやプロモーションをめぐるの生きた経験や情報の集約・記録化が行え、これからのデザイン振興事業や産地企業のデザインマネジメントへの示唆が得られた。

研究成果の概要(英文)：(1) "A History of Regional Design in Japan II": 7 regions of Kumamoto, Osaka, Nagoya, Kanagawa, Sendai-Miyagi, Akita, Hakodate are taken up, and each area is based on team formation of university researchers and government and private practitioners. Researched and edited various fields such as industry, promotion, landscape, education, etc. and summarized contemporary design history.
(2) "Contemporary History Research on Design Promotion for Regional Industry": We gathered up results of field survey on design promotion and management in traditional industries and regional industries in Ishikawa Prefecture (Yamanaka district, Wajima district, Kutani district), Takaoka district and Osaka district.

研究分野：社会デザイン、地域デザイン、現代デザイン史、デザインプロモーション

キーワード：デザイン史 地域産業 地域デザイン デザインプロモーション 伝統工芸産業 デザインマネジメント

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 地域活性化、地方創成など叫ばれるなか、地域の創造性や新たな価値創出の要となりうるデザインのプロモーション活動は、近年決して活発とは言えず、新たな取り組みが求められる。いわゆる中央に依存するのではなく、地域が自ら考え道を切り拓く時代である。歴史はそのような知恵の宝庫である。そのため、地域内に散在するデザインの足跡を集約し、各地域の歴史の大きな流れや全体像を捉え直す地域デザイン史という研究領域の構築が、喫緊の課題である。

(2) 『日本・地域・デザイン史』の編纂(先行研究)を通じて3つの重要な問題を確認した。日本各地のデザイン史はそれぞれの地域が編纂しない限り存在しないこと、知恵の宝庫である歴史書を手元で簡便に参照できる環境が大切なこと、そして20世紀後半の歴史の記録には諸機関の統廃合や世代交代の事情もあり早急に着手しないと機会を逃しかねない懸念である。

2. 研究の目的

(1) 本研究では、全国7地域を対象に地域デザイン史の調査・編纂に取り組み、新たな研究領域の構築・普及に資するとともに、地域デザイン史のデータベース構築の基礎づくりを目指す。

(2) 地域産業におけるデザインやプロモーションに関わる生きた経験や情報の記録化を通じ、振興事業の中長期的視野からの評価、産地企業のデザインマネジメントの可能性を探究する。

3. 研究の方法

(1) 地域デザイン史総括研究会のもと、地域ごとに大学研究者、官民実務者からなる研究チーム編成により文献調査、実地調査、研究会討議を行い、分担して各地域のデザイン史を編纂・執筆した。

(2) 地域ごとに研究チームを組織して、地域産業のデザインプロモーションの当事者へのインタビュー調査を中心に文献資料調査等で補い、研究会討議を通じて分析・評価を行った。

4. 研究成果

(1) 『日本・地域・デザイン史』芸術工学会地域デザイン史特設委員会編(委員長:黒田宏治) 美学出版、2016年12月(A5判・350頁)

(研究の主な成果、主要目次)

序 - 地域デザイン史研究の入口から(黒田宏治)

九州 熊本(pp.15~54)(星加民雄ほか): 熊本デザイン史総説 / 熊本の産業とデザイン / 熊本の工芸とデザイン / 熊本の建築・景観とデザイン / 熊本のデザイン教育 / 熊本デザイン史年表

関西 大阪(pp.55~108)(藤本英子ほか): 大阪デザイン史総説 / 大阪のインダストリアルデザイン / 大阪のグラフィックデザイン / 大阪の建築と景観のデザイン / 大阪における洋裁文化の興亡 / 大阪府のデザイン組織とデザイン団体 / 広報から見た大阪市のデザイン行政 / 戦後大阪のデザイン教育 / 大阪デザイン史年表

東海 名古屋(pp.109~156)(岡村穰ほか): 名古屋デザイン史総説 / ものづくり名古屋の伝統とデザイン / 機器とモビリティのデザイン / まちづくりと文化のデザイン / デザイン都市・名古屋の展開 / 名古屋のデザイン教育 / 名古屋デザイン史年表

関東 神奈川(pp.157~208)(澁谷邦男ほか): 神奈川デザイン史総説 / 神奈川の木工と地場産品 / 重層化する神奈川の産業デザイン / 神奈川のデザイン行政 / デザイン団体の歩み / 神奈川県デザイン教育機関 / 神奈川デザイン史年表

東北 仙台・宮城(pp.209~260)(庄子晃子ほか): 仙台・宮城デザイン史総説 / 仙台・宮城



のデザイン行政 / 産学官の連携とデザイン / 仙台・宮城のデザインプロモーション / 仙台・宮城の企業と地域デザイン / 仙台・宮城の伝統文化と今日 / 仙台・宮城のデザイン教育研究 / 東日本大震災を越えて / 仙台・宮城デザイン史年表

東北 秋田 (pp.261 ~ 294) (五十嵐潤ほか): 秋田デザイン史総説 / 伝統的工芸品とデザイン / 公設機関と家具業界 / デザイン支援体制の復活 / 風土と建築デザイン / 秋田のデザイン教育と人材風土 / 秋田デザイン史年表

北海道 函館 (pp.295 ~ 333) (渡辺譲治ほか): 函館デザイン史総説 / 戦前の図案から戦後の宣伝美術まで / デザイン団体の動き / 函館のまち並みと市民文化 / 行政とデザイン / デザイン教育 / 函館デザイン史年譜年表

主な参考文献 (pp.336 ~ 346)

(成果の位置づけ、今後の展望)

地域ごとに産業、振興、景観、教育など多様な研究者、実務者の協力を得られたことにより、デザインにまつわる多くの出来事、情報の掘り起こしが行え、コンパクトながら広範な話題を盛り込むことができた。本研究の延長上に比較地域研究や分野を定めた深掘り研究の展開を期待したい。

(2) 『地域産業デザインプロモーション現代史研究報告書』地域産業デザインプロモーション現代史研究会(代表:黒田宏治) 静岡文化芸術大学地域デザイン研究室、2019年3月(A4判・171頁)

(研究の主な成果)

石川地域の伝統産業とデザイン:

石川地域調査研究の計画とインタビュー調査概観(黒田宏治)

石川県のデザイン振興のあゆみ(松山治彰)

山中漆器・地方産業デザイン開発推進事業の経緯と評価(黒田宏治)

九谷焼ワインカップと九谷和ガラスのデザイン開発(松山治彰)

輪島塗・新商品開発研究会の活動と産地への影響(黒田宏治)

産地企業主導の経営革新とデザイン(松山治彰、黒田宏治)

オンラインメディアによる九谷焼産業の流通変革(出原立子)

石川地域インタビュー調査記録(16件/県振興関連1件、山中関連6件、九谷関連5件、輪島関連4件)

高岡地域の伝統産業とデザイン

富山におけるデザイン振興(有田行男)

高岡におけるデザイン振興(有田行男)

高岡における経営の革新とデザイン(有田行男)

高岡デザイン振興史年表/高岡地域インタビュー調査記録(4件)

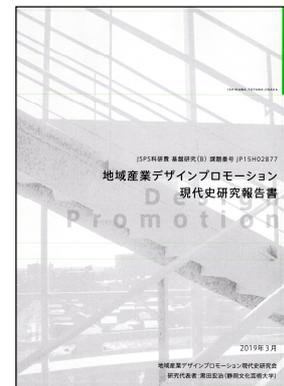
大阪地域の地域産業とデザイン

大阪発の生活スタンダードのデザインについて(藤本英子)

小型農機開発において大阪企業の果たした役割(高安啓介)

(成果の位置づけ、今後の展望)

過去 10~50 年にわたる石川県内ははじめ地域産業におけるデザインプロモーションに関わる生きた経験・情報の集約・記録化、事業評価等が行えたことは類を見ない。今後は地域を広げての研究展開とともに、地域産業の実情や特性に即したデザインのプロモーションやマネジメントの方法構築の研究も考えたい。



(3)『栄久庵憲司とデザインの世界』黒田宏治編、美学出版、2016年2月(四六判・174頁)
(研究の主な成果、主要目次)

序 栄久庵先生と静岡文化芸術大学(黒田宏治)

第一講 西洋のデザイン、日本の飾り(熊倉功夫)

第二講 食文化と生活のデザイン(田島康正、佐井国夫、熊倉功夫、黒田宏治)

第三講 もの文化と道具のデザイン(伊坂正人)

第四講 道具と空間のインダストリアルデザイン(磯村克郎)

第五講 浜松のデザイン、ヤマハとともに(高梨廣孝)

第六講 日中デザイン交流を振り返る(佐井国夫)

補講 道具という言葉/禁欲と非禁欲/「幕の内弁当の美学」とは/小人論/知識と作法/クリエイティブ・インダストリー(栄久庵憲司)
(成果の位置づけ、今後の展望)



20世紀後半の日本のデザイン界を牽引してきたデザイナー栄久庵憲司をテーマに扱った初めての論集と言ってもよい。本研究も踏まえ、栄久庵憲司並びに GK デザイングループの日本デザイン現代史に果たした役割やインパクトについて研究を深めていけたらと考えている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 7件)

黒田宏治、渡辺譲治、五十嵐潤、庄子晃子、澁谷邦男、岡村穰、藤本英子、星加民雄、地域デザイン史研究で見えてきたもの、芸術工学会誌、査読無、No.76、2018、pp.16-30

澁谷邦男、地域デザイン史編纂の方法 神奈川デザイン史編纂の事例から、芸術工学会誌、査読有、No.72、2016、pp.68-69

黒田宏治、浜松における民芸運動の事業構造をめぐっての一考察、芸術工学会誌、査読有、No.69、2015、pp.38-39

澁谷邦男、地域デザイン史編集の意義とその多様性、芸術工学会誌、査読有、No.69、2015、pp.42-43

黒田宏治、地域デザインの課題と可能性 いま地域デザインの原点を見つめ、これからを考える、芸術工学会誌、査読有、No.68、2015、pp.24-27

黒田宏治、昭和の民芸運動と浜松をめぐって、芸術工学会誌、査読無、No.68、p.47

黒田宏治、地域デザイン史研究の構想、芸術工学会誌、査読無、No.68、p.65

〔学会発表〕(計 11件)

渡辺譲治、函館デザイン史の源流、芸術工学会 2017 秋期大会(招待講演)、2017

五十嵐潤、秋田デザイン史で見えてきたもの、芸術工学会 2017 秋期大会(招待講演)、2017

庄子晃子、仙台デザイン史の基本的な流れ、芸術工学会 2017 秋期大会(招待講演)、2017

澁谷邦男、神奈川デザイン史の3つのエクス、芸術工学会 2017 秋期大会(招待講演)、2017

岡村穰、名古屋デザイン史の前史とエピソード、芸術工学会 2017 秋期大会(招待講演)、2017

藤本英子、大阪デザイン史 浪速の風と浪、芸術工学会 2017 秋期大会(招待講演)、2017

星加民雄、熊本デザイン史編集のプロセス、芸術工学会 2017 秋期大会(招待講演)、2017

澁谷邦男、地域デザイン史編纂の方法 神奈川デザイン史編纂の事例から、芸術工学会 2016 秋期大会、2016

黒田宏治、浜松における民芸運動の事業構造をめぐっての一考察、芸術工学会 2015 秋期大会、2015

澁谷邦男、地域デザイン史編集の意義とその多様性、芸術工学会 2015 秋期大会、2015

黒田宏治、地域デザインの課題と可能性、芸術工学会 2015 春期大会（招待講演）、2015

〔図書〕(計 3 件)

地域産業デザインプロモーション現代史研究会(黒田宏治(代表)、出原立子、松山治彰、有田行男、藤本英子、高安啓介)、静岡文化芸術大学地域デザイン研究室、地域産業デザインプロモーション現代史研究報告書、2019、171 頁

芸術工学会地域デザイン史特設委員会編(黒田宏治(編集代表)、星加民雄(熊本主筆)、藤本英子(大阪主筆)、岡村穰(名古屋主筆)、澁谷邦男(神奈川主筆)、庄子晃子(仙台宮城主筆)、五十嵐潤(秋田主筆)、渡辺譲治(函館主筆)ほか全 110 名)、美学出版、日本・地域・デザイン史、2016、350 頁

黒田宏治(編著)、熊倉功夫、田嶋康正、佐井国夫、伊坂正人、高梨廣孝、磯村克郎、美学出版、栄久庵憲司とデザインの世界、2016、174 頁

6. 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名：岡村 穰

ローマ字氏名：(OKAMUA, Yutaka)

所属研究機関名：名古屋市立大学

部局名：大学院芸術工学研究科

職名：教授

研究者番号(8桁)：60141438

研究分担者氏名：藤本 英子

ローマ字氏名：(FUJIMOTO, Hideko)

所属研究機関名：京都市立芸術大学

部局名：美術学部 / 美術研究科

職名：教授

研究者番号(8桁)：60336724

研究分担者氏名：星加 民雄

ローマ字氏名：(HOSHIKA, Tamio)

所属研究機関名：崇城大学

部局名：総合教育センター

職名：准教授

研究者番号(8桁)：10331068

研究分担者氏名：菊池 良覚

ローマ字氏名：(KIKUCHI, Ryougaku)

所属研究機関名：東北工業大学

部局名：ライフデザイン学部

職名：教授

研究者番号(8桁)：00161430

研究分担者氏名：五十嵐 潤

ローマ字氏名：(IGARASHI,Jun)
所属研究機関名：秋田公立美術大学
部局名：美術学部
職名：教授
研究者番号(8桁)：70341732
研究分担者氏名：出原 立子
ローマ字氏名：(IZUHARA,Ritsuko)
所属研究機関名：金沢工業大学
部局名：情報フロンティア学部
職名：教授
研究者番号(8桁)：00299132
研究分担者氏名：有田 行男
ローマ字氏名：(ARITA,Ikuo)
所属研究機関名：富山大学
部局名：芸術文化学部
職名：准教授
研究者番号(8桁)：10733727

(2)研究協力者

研究協力者氏名：澁谷 邦男
ローマ字氏名：(SHIBUYA,Kunio)
研究協力者氏名：庄子 晃子
ローマ字氏名：(SHOUJI,Akiko)
研究協力者氏名：渡辺 譲治
ローマ字氏名：(WATANABE,Joji)
研究協力者氏名：松山 治彰
ローマ字氏名：(MATSUYAMA,Haruaki)
研究協力者氏名：高安 啓介
ローマ字氏名：(TAKAYASU,Keisuke)
ほか

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。